

## 第55回全国林業後継者大会奈良県実行委員会 設立趣旨

戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を循環利用し、再造林や間伐等の適切な森林整備を通じて、先人たちが守ってきた豊かな森林を次世代へ継承していくことが急務となっています。

奈良県では、新たな森林環境管理制度を推進するため、令和2年4月に「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を制定しました。令和3年4月には奈良県フォレスター・アカデミーを開校し、奈良県フォレスターを始めとした、新たな森林環境管理制度を支える人材を養成しています。

こうした中、令和9年春に「第55回全国林業後継者大会」を本県で開催することは、森林・林業の重要性や林業の魅力を全国に発信する絶好の機会になるとともに、次代の本県林業を担う人材の確保・育成につながるものと期待されます。

この大会を、本県の林業関係者にとって有意義な大会として成功させるため、林業関係団体をはじめ県及び市町村の参画のもと、万全な開催準備及び大会運営を推進する「第55回全国林業後継者大会奈良県実行委員会」を設立します。

令和7年12月12日